

広報

ただみ

2

2020 月号

No. 597
令和2年2月10日



今月の表紙

今年は全国的に雪が非常に少なく、町内のスキー大会なども中止が続いている状況ですが、檜枝岐村で開催された県中体スキー大会では只見中学校スキー部の皆さんが素晴らしい活躍を見せてくれました。

写真は、クロカン男子リレーで見事、初優勝を飾った4名の選手たちです。選手1人1人の熱い想いが、日々のハードな練習を乗り越え、「県大会優勝」という目標を達成する原動力となりました。（関連記事：P15）

《特集》

「只見町モノとくらしのミュージアム」(仮称)

..... 2～5

令和元年度町民アンケート結果 6～9

令和元年度芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式
第43回只見町民文芸コンクール表彰式 10～11

《News&flash》 12～13

《町の話》 14～15



重要文化財を「収蔵」し、「展示」「活用」を図る

「只見町モノとくらしのミュージアム」(仮称)

大倉地内を走る国道289号沿い、会津只見考古館の隣に大きな建物が建設されています。これは平成15年、国重要有形民俗文化財に指定された「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」を保管するための収蔵施設です。この建物は、会津只見考古館とつながって一体化した施設となり、「只見町モノとくらしのミュージアム」(仮称)として整備される計画です。只見町の宝である重要文化財を「収蔵」し、「展示」と「活用」を図る拠点施設として、令和4年4月の開館を目指しています。本号では、これまでの歩みや整備計画の内容などについて紹介します。

民具収蔵展示施設 整備までの歩み

民具とは、昔から受け継がれてきた農具や漁具、生活用具のことです。民具は、当時の生活に欠かすことのできない重要な物でしたが、農家住宅の建て替えと農業の機械化によって昭和40年代から捨てられていくようになりました。そこで、消失しそうな民具を残そうという機運が高まり、収集が始まりました。集まった民具は旧分校や旧寄宿舎などに分散して保管されたのです。

その後、平成元年から開始された町史編さん事業によって、これらの民具を整理する事業が展開されました。整理作業は実際に使用してきた町民自らが掃除をして写真を撮り、整理分類した後、「民俗資料調査カード」に記録するという工程で行われました。こうした取組は、民具整理の先進事例として「只見方式」と呼

ばれ、国内のみならず、海外からも視察する人が訪れるようになりました。整理された民具は10,000点を超えましたが、その中の2,333点が国重要有形民俗文化財として指定されており、これらの民具は朝日振興センター前の旧朝日公民館に保存されています。しかし、同公民館も老朽化が進み、近年では貴重な民具類を展示する場所も無いといった状況でした。

こうした状況を受け、町では、平成25年に民具収蔵展示施設検討委員会を立ち上げ、展示施設の構想やコンセプトについて検討を行いました。翌年に「民具収蔵展示施設基本構想」としてまとめ、平成28年には「民具収蔵展示施設基本計画」を策定、それをもとに基本設計と実施設計を組み、昨年6月より同施設の建設に着手したのです。

「只見町モノとくらしのミュージアム」(仮称)構想

令和4年4月開館予定

「展示」「活用」エリア【会津只見考古館】

- 展示ゾーン
縄文時代から現代までのモノ(土器から民具まで)
- 体験ゾーン
さまざまなモノを使った体験活動を行う

「収蔵」エリア【現在建設中の建物】

- 収蔵ゾーン
国指定重要有形文化財2,333点を保存する
※令和3年9月より旧朝日公民館から移動
- 展示ゾーン
企画展示を行う

渡り廊下

※本図はイメージであり、実際に建設中の建物とは異なる部分があります。

「収蔵エリア」(建設中)



◀旧朝日公民館



▲建設中※1月末時点



- 旧朝日公民館に収蔵されている国指定重要有形民俗文化財を移して収蔵する。
- 企画展示を行う。

「展示」「活用」エリア(現考古館)



- 展示内容を一新する。
- 体験活動ができるコーナーを設ける。
- 改修工事を検討する。
- 民具収蔵展示施設と現考古館の建物を「渡り廊下」で結ぶ。

町内外の有識者などが集う 準備検討委員会を発足

3ページで紹介したように、新たに建設される民具収蔵施設は、既存の会津只見考古館と渡り廊下でつながり一体化した施設となります。基本構想で示された理念をもとに、これら一体化した施設を「只見町モノとくらしのミュージアム」とくらしのミュージアム(仮称)として収蔵し、展示する計画です。具体的には、現在建設中の建物を国重要有形民俗文化財である民具を収蔵する施設とし、渡り廊下でつながる会津只見考古館の改修工事を行い、土器から民具までを展示して体験する施設にする構想となっています。

このミュージアムの組織や運営体制、展示活用方法、そして旧朝日公民館に残っている民具のあり方について具体的に協議していくため、「只見町モノとくらしのミュージアム(仮称)準備検討委員会」が設置され、

町内外の有識者を含めた12名の委員が委嘱されました(表1)。今年1月14日に開催された検討委員会では、正副委員

表1 只見町モノとくらしのミュージアム(仮称)準備検討委員会委員

氏名	役職
佐々木長生	委員長
久野俊彦	
飯塚恒夫	
新国勇	副委員長
星美弥子	
馬場敏行	

氏名	役職
山崎行弘	
目黒良樹	
三瓶こずえ	
平山真恵美	
横田雅則	
中野陽介	

員長が選出された後に早速、現地視察が行われ、今後の日程や展示活用構想についての協議が始められています。



準備検討委員会で
展示内容などを検討する

只見町モノとくらしのミュージアム(仮称) 準備検討委員会

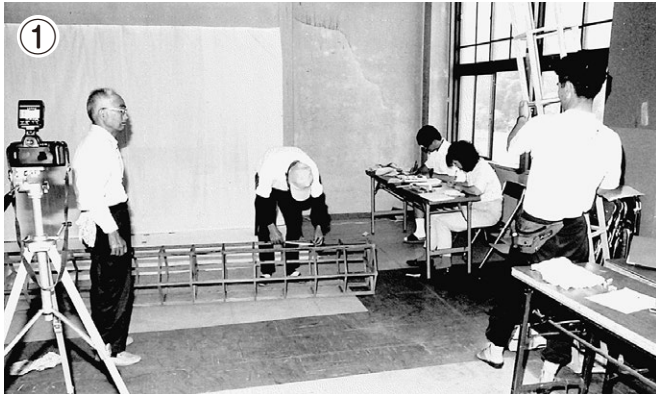
委員長 **佐々木 長生**さん



福島県相馬市出身。福島県立博物館専門員の時に、町民とともに民具整理を行い、それ以来、只見の民具に関連した事業や研究に携わる。

只見町では50年来収集してきた民具が整理され、その数は10,000点を超えています。その中の2,333点が、「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」として国重要有形民俗文化財に指定されています。これらは町内のお年寄りが自ら調査・整理したもので、町民が作り上げた町の宝です。只見町の民具整理は「只見方式」とよばれ、全国的に高く評価されています。今年11月7～9日には、日本民具学会の大会が只見町で開催され、全国各地からたくさんの研究者が集まります。只見町の民具はそれほど価値が高いものなのです。

このたび国重要有形民俗文化財を収める民具収蔵庫が大倉に建設され、会津只見考古館と一体化した新たな施設が誕生します。只見町モノとくらしのミュージアム(仮称)準備検討委員会では、只見ユネスコエコパークの地に、自然に抱かれたくらしと歴史を伝え、町民が誇ることができるミュージアムとなるよう鋭意努力していく所存です。町民各位のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



▲①民具の寸法を調査 ②民具の収集作業 ③「民俗資料調査カード」により民具を整理 ④各メディアに取り上げられる機会も増えていった

多くの町民の想いが詰まった施設に

町民の皆さんの手によって日々失われていく農耕用具や生活用具が集められ、整理・収蔵するまでに50年という歳月が過ぎようとしています。これらに携わった方々の多くは他界されてしまいました。しかし、きれいに磨かれて整理された膨大な数の民具は整然と保管され、使用方法や思い出を書き綴った13,000枚にもなる「民俗資料調査カード」も大切に保存されています。そして、今もお、町民の皆さんから民具の寄贈があります。

これらの民具は、現在も学校教育の場などで活用される機会が多く、町の歴史や文化を次世代に伝えていくという点で非常に重要な役割を担っています。

先人から受け継いできた町の宝である「民具」。その宝を遺していこうとする町民の皆さんの強い意思が、

これまでの成果を生み出す原動力となってきました。「只見町モノとくらしのミュージアム」(仮称)は、町民の熱い思いが詰まった施設となるよう、令和4年4月開館を目指して着々と検討が進められています。



▶民具調査・整理の成果である「民俗資料調査カード」

お問い合わせ先

只見町教育委員会生涯学習係

☎ 0241-82-5320

(只見町モノとくらしのミュージアム(仮称))
(準備検討委員会 事務局)

▶旧朝日公民館で民具について学ぶ児童
同公民館は町内小学校を中心に、
学習の場として積極的に活用されている



令和元年度

町民アンケート結果

今年度は、本町まちづくりの指針である「第七次只見町振興計画」(平成28年3月に策定)における4年目の評価検証を行う年です。町では、様々な業種からなる専門部員の皆さんにご協力をいただき、振興計画に基づいて実施された各事業の評価を行いました。併せて、同計画における重点施策や事業に対しての認知・関心度・満足度などを調査することを目的に、町民アンケートを実施しました。

ご協力をいただきました専門部員、そして町民の皆さん、本当にありがとうございました。

こうした結果を受け、町では今後、担当課での事業の見直しや更なる検証、新たな取組の導入などに着手していく予定です。

本号では、町民アンケートの結果(一部)を皆さんにご紹介いたします。



アンケート実施概要

調査地域	只見町全域
調査対象	満18歳以上の町民(令和元年9月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数	1,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回答数	436
有効回答率	43.6%
実施期間	令和元年9月24日(火)～10月18日(金)

※回答の割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。
また、複数回答可の設問の場合も、全ての回答割合を計算すると100%を超える場合があります。

1 回答者自身について

あなたのご職業をおたずねします。

	回答数	割合(%)
1. 農林水産業	46	10.6
2. 建設・土木業	49	11.2
3. 製造業など	34	7.8
4. 商業・サービス業	72	16.5
5. 4以外の第3次産業	14	3.2
6. 公務員	14	3.2
7. 派遣・パート・アルバイト	35	8.0
8. 学生	3	0.7
9. 家事専業	43	9.9
10. 無職	98	22.5
11. その他	22	5.0
12. 無回答	6	1.4
全 体	436	100.0

あなたの家族構成についておたずねします。

	回答数	割合(%)
1. 単身	40	9.2
2. 夫婦のみ	128	29.4
3. 親子	182	41.7
4. 3世代	63	14.4
5. 親族世帯のみ	7	1.6
6. その他	10	2.3
7. 無回答	6	1.4
全 体	436	100.0

2 定住意向について

あなたは、只見町にどのくらいの期間住んでいますか。

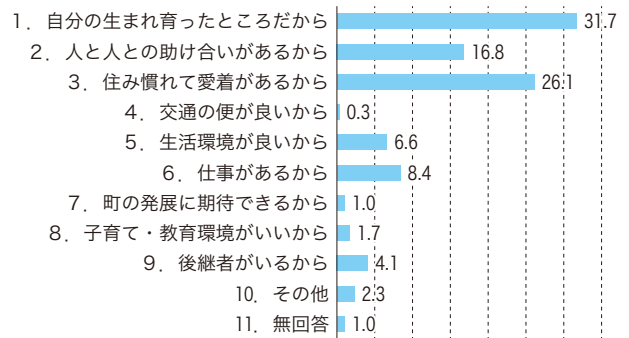
	回答数	割合(%)
1. 5年未満	18	4.1
2. 10年未満	11	2.5
3. 20年未満	47	10.8
4. 20年以上	359	82.3
5. 無回答	1	0.2
全 体	436	100.0

あなたは、只見町にこれからも住みたいと思いますか。

	回答数	割合(%)
1. 一生住みつづけたい	183	42.0
2. できれば住みつづけたい	132	30.3
3. 転出しても戻って来たい	3	0.7
4. できれば転出したい	48	11.0
5. 転出したい	16	3.7
6. どちらともいえない	42	9.6
7. 無回答	12	2.8
全 体	436	100.0

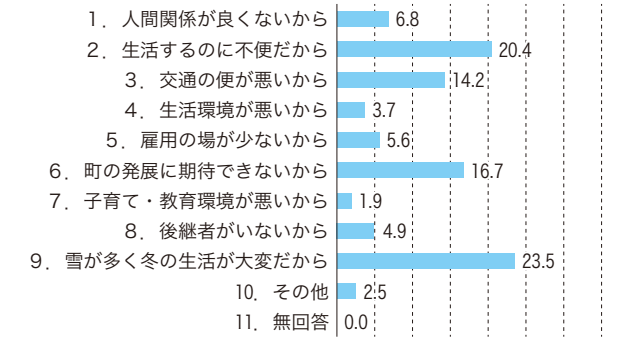
只見町に住みたい主な理由はなんですか。(最大3つまで)

	回答数	割合(%)
1. 自分の生まれ育ったところだから	230	31.7
2. 人と人との助け合いがあるから	122	16.8
3. 住み慣れて愛着があるから	189	26.1
4. 交通の便が良いから	2	0.3
5. 生活環境が良いから	48	6.6
6. 仕事があるから	61	8.4
7. 町の発展に期待できるから	7	1.0
8. 子育て・教育環境がいいから	12	1.7
9. 後継者がいるから	30	4.1
10. その他	17	2.3
11. 無回答	7	1.0
全 体	725	100.0



只見町から転出したい主な理由はなんですか。

	回答数	割合(%)
1. 人間関係が良くないから	11	6.8
2. 生活するのに不便だから	33	20.4
3. 交通の便が悪いから	23	14.2
4. 生活環境が悪いから	6	3.7
5. 雇用の場が少ないから	9	5.6
6. 町の発展に期待できないから	27	16.7
7. 子育て・教育環境が悪いから	3	1.9
8. 後継者がいないから	8	4.9
9. 雪が多く冬の生活が大変だから	38	23.5
10. その他	4	2.5
11. 無回答	0	0.0
全 体	162	100.0



3 町の政策等に対する認知・関心度、重要度、満足度について

- 満足度と重要度を右記により得点化した上、4つの分類に整理する。
- 回答数に点数を乗じ、総回答数で除して項目毎の得点を算出する。
- 各平均点を算出し、平均点未満を低、平均点以上を高とする。

<点数>

	満足度		重要度	
満足している	4点	重要である	4点	
満足していない	3点	重要でない	3点	
わからない	1点	どちらでもない	1点	

<分類表>

分類	満足度	重要度	評価の視点
分類1	低	高	改善策を検討・実施
分類2	高	高	更なる向上の余地はないか
分類3	低	低	認知・関心度の向上を検討
分類4	高	低	過剰な取り組みではないか

<施策別分類一覧表> ※満足(重要)度が高いほど、満足(重要)であると回答した人が多い。

主な施策	満足度	重要度	分類
1. ユネスコエコパークの推進	1.7	2.2	4
2. 新エネルギーの推進	1.4	2.2	3
3. 雪を活用した地域づくり	1.7	2.6	4
4. 除排雪体制の充実	2.4	3.4	2
5. 八十里越の早期開通対策	2.1	3.2	2
6. 町営住宅の整備	1.6	2.5	3
7. 空き家の利活用促進	1.8	2.9	2
8. 景観対策の推進	1.6	2.4	3
9. ごみの分別とリサイクル	2.5	3.3	2
10. 将来を担う子供たちへの教育	1.9	3.3	2
11. 只見高等学校支援対策	1.9	3.2	2
12. 放課後児童対策の推進	1.7	2.8	2
13. 地域人材育成の推進	1.5	2.6	3
14. 世代間交流の推進	1.5	2.4	3
15. 文化祭等の開催	1.7	2.5	4
16. 文化財の保護と伝承	1.8	2.7	2
17. 各種スポーツ大会の開催	1.5	2.3	3
18. 振興センター事業の取組	1.8	2.6	4
19. 移住定住対策の推進	1.6	2.6	3
20. 地域おこし協力隊の活用	1.5	2.4	3
21. 積極的な町の情報の発信	1.8	2.7	2
22. 町民の声が行政に反映されている	1.8	2.7	2
23. 役場組織の効率化	1.7	2.7	2
24. ふるさと納税の推進	1.4	2.2	3
25. 観光施設の充実	1.7	2.7	2
26. 雪んこタクシーの運行	2.2	3.2	2
27. 定期路線ワゴンの運行	1.8	2.8	2
28. 地域包括支援センターの充実	1.5	2.4	3

主な施策	満足度	重要度	分類
29. 保健・医療・福祉の連携	1.9	3.2	2
30. 健康づくり対策の推進	1.6	2.8	2
31. 各種健診事業の充実	2.1	3.2	2
32. 子育て支援対策の充実	1.6	2.9	2
33. ひとり親対策の充実	1.4	2.6	1
34. 児童虐待予防対策の充実	1.3	2.9	1
35. 花嫁・花婿対策の推進	1.4	2.7	1
36. シルバー人材センターの立ち上げ	1.4	2.8	1
37. 高齢者等への除雪支援対策	2.0	3.4	2
38. 介護サービスの充実	1.9	3.3	2
39. 地域サロンの推進	1.5	2.4	3
40. 障がい者の社会活動参加促進	1.3	2.6	3
41. 朝日診療所体制の充実	2.1	3.4	2
42. 消防団組織の強化	1.8	3.1	2
43. 防災・安全対策の充実	1.8	3.1	2
44. 地域農業者の育成	1.4	2.7	1
45. 農業の法人化推進	1.3	2.2	3
46. 農地の基盤整備事業	1.4	2.2	3
47. 林道の整備	1.4	2.3	3
48. 創業・起業支援の充実	1.3	2.1	3
49. 中心市街地活性化対策	1.4	2.2	3
50. 道の駅整備事業	1.6	2.5	3
51. 企業誘致対策の推進	1.6	2.6	1
52. 町内の雇用確保対策の推進	1.6	2.7	1
53. 魅力ある観光地づくり	1.6	2.7	2
54. 近隣町村との交流促進	1.4	2.5	3
55. JR只見線を活用した誘客促進	1.7	2.8	2
56. 町特産品のブランド化推進	1.6	2.7	1
平均値	1.7	2.7	

4 公共施設の利用状況とその施設の利用度、満足度について

- 満足度と重要度、利用度を下記により得点化した上、4つの分類に整理する。
- 回答数に点数を乗じ、総回答数で除して項目毎の得点を算出する。
- 各平均点を算出し、平均点未満を低、平均点以上を高とする。

〈点数〉

満足度		重要度		利用度(参考値)	
満足している	4点	重要である	4点	よく利用している	4点
満足していない	3点	重要でない	3点	ときどき利用している	3点
わからない	1点	どちらでもない	1点	利用していない	1点

〈分類表〉

分類	満足度	重要度	評価の視点
分類1	低	高	改善策を検討・実施
分類2	高	高	更なる向上の余地はないか
分類3	低	低	認知・関心度の向上を検討
分類4	高	低	過剰な取り組みではないか

〈施設別分類一覧表〉※満足(重要)度が高いほど、満足(重要)であると回答した人が多い。

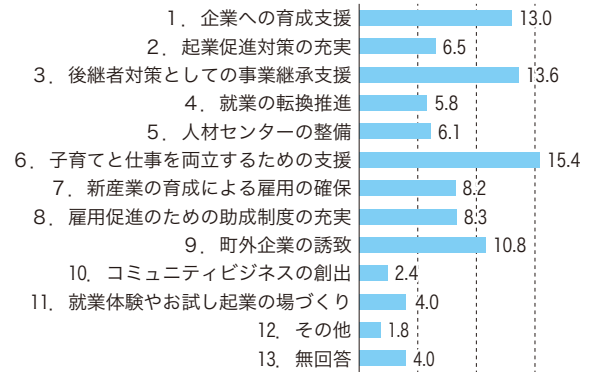
施設名	満足度	重要度	分類	利用度(参考値)
各振興センター	2.3	3.1	2	2.5
振興センター図書室	1.5	2.2	2	1.3
町民体育館	1.4	2.2	1	1.2
町民プール	1.2	1.8	3	1.0
町下グラウンド	1.4	2.2	1	1.3
サンドバレーコート	1.1	1.7	3	1.0
亀岡サッカー場	1.2	1.8	3	1.0
河井継之助記念館	1.6	2.4	2	1.5
ただみの森キャンプ場	1.6	2.4	2	1.5
只見スキー場	1.5	2.3	2	1.5

施設名	満足度	重要度	分類	利用度(参考値)
ひとつぶるまち湯	1.7	2.3	2	2.0
ブナと川のミュージアム	1.4	2.0	3	1.5
ふるさと館田子倉	1.2	1.7	3	1.2
季の郷湯ら里	2.3	3.1	2	2.9
深沢温泉むら湯	2.2	2.9	2	2.5
歳時記会館	1.4	2.1	3	1.9
森林の分校ふざわ	1.3	1.9	3	1.3
会津只見考古館	1.2	1.7	3	1.2
田子倉レイクビュー	1.4	2.2	1	1.7
平均値	1.5	2.2		1.6

5 町の今後の取り組みについて

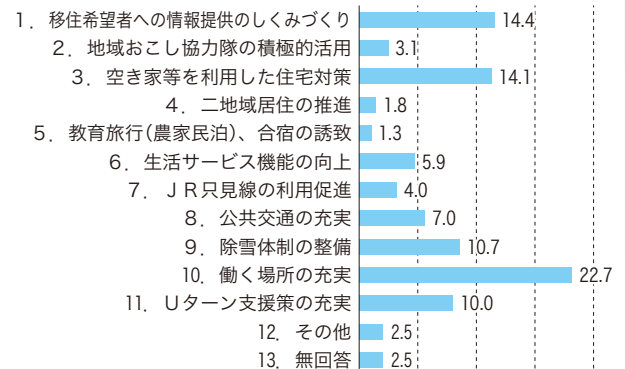
あなたは、安定した雇用を生み出すために今後必要な対策は何だと思いますか。(最大3つまで)

	回答数	割合(%)
1. 企業への育成支援	133	13.0
2. 起業促進対策の充実	67	6.5
3. 後継者対策としての事業継承支援	140	13.6
4. 就業の転換推進	60	5.8
5. 人材センターの整備	63	6.1
6. 子育てと仕事を両立するための支援	158	15.4
7. 新産業の育成による雇用の確保	84	8.2
8. 雇用促進のための助成制度の充実	85	8.3
9. 町外企業の誘致	111	10.8
10. コミュニティビジネスの創出	25	2.4
11. 就業体験やお試し起業の場づくり	41	4.0
12. その他	18	1.8
13. 無回答	41	4.0
全体	1026	99.9



あなたは、人口減少対策として、今後重点的に進めるべき事業は何だと思いますか。(最大2つまで)

	回答数	割合(%)
1. 移住希望者への情報提供のしくみづくり	125	14.4
2. 地域おこし協力隊の積極的活用	27	3.1
3. 空き家等を利用した住宅対策	123	14.1
4. 二地域居住の推進	16	1.8
5. 教育旅行(農家民泊)、合宿の誘致	11	1.3
6. 生活サービス機能の向上	51	5.9
7. JR只見線の利用促進	35	4.0
8. 公共交通の充実	61	7.0
9. 除雪体制の整備	93	10.7
10. 働く場所の充実	198	22.7
11. Uターン支援策の充実	87	10.0
12. その他	22	2.5
13. 無回答	22	2.5
全体	871	100.0



あなたは、只見町は子育てしやすい町だと思いますか。

	回答数	割合(%)
1. 子育てしやすい	64	14.7
2. どちらかという子育てしやすい	125	28.7
3. どちらとも言えない	141	32.3
4. どちらかという子育てしにくい	43	9.9
5. 子育てしにくい	18	4.1
6. 無回答	45	10.3
全体	436	100.0

多くの町民が子育てしやすいと感じるためには、あなたは、どのような取り組みが必要だと思いますか。

	回答数	割合(%)
1. 保育サービスの充実	168	22.5
2. 経済的支援の充実	172	23.0
3. 相談や交流の支援の場の充実	96	12.8
4. 公園などの居場所の整備	69	9.2
5. 安全に関する情報提供の充実	38	5.1
6. 集落によるパトロール等の充実	25	3.3
7. 地域による子育て支援の推進	110	14.7
8. その他	19	2.5
9. 無回答	51	6.8
全体	748	100.0

あなたは、町内の小学校の統合についてどのように思いますか。

	回答数	割合(%)
1. 早急に統合すべき	77	17.7
2. 今後の状況によっては統合すべき	175	40.1
3. 今の時点では統合しなくてよい	75	17.2
4. 将来にわたり統合しなくてよい	34	7.8
5. わからない	45	10.3
6. その他	9	2.1
7. 無回答	21	4.8
全 体	436	100.0

あなたは、町政等に関する情報をどのような方法で知りますか。

	回答数	割合(%)
1. 「広報ただみ」や「おしらせばん」	352	80.7
2. 議会だより	52	11.9
3. 町のホームページ	4	0.9
4. 振興センターの窓口	4	0.9
5. 新聞等	2	0.5
6. その他	5	1.1
7. 無回答	17	3.9
全 体	436	100.0

あなたは、町のどのような情報を知りたいですか。また、興味・関心がありますか。(最大3つまで)

	回答数	割合(%)
1. 町の政策や取り組んでいる事業の内容	276	25.8
2. 新しい制度やその手続き、利用方法などの情報	232	21.7
3. 町の行事やイベントの情報	123	11.5
4. 日常生活に必要な情報(福祉、医療、交通等)	265	24.7
5. 町の施設案内	28	2.6

左記の理由は何ですか。(最大3つ)

	回答数	割合(%)
1. 切磋琢磨する機会が増える	109	10.6
2. 社会性等を育みやすい	70	6.8
3. 活気が生まれやすい	75	7.3
4. 多様な学習・指導体制を取りやすい	67	6.5
5. 人間関係が固定化しやすい	21	2.1
6. PTA活動等の負担が少なくなる	20	2.0
7. 経費削減につながる	56	5.5
8. 複式学級になる心配がある	44	4.3
9. 子どもの数が減っている	175	17.1
10. 地域との連携が図りやすい	21	2.1
11. 個に応じた細やかな指導がしやすい	63	6.2
12. 一人ひとりの活躍の場が多い	21	2.1
13. 異学年間の交流が生まれやすい	22	2.1
14. 地域に活力がなくなる	65	6.3
15. 集団活動に制約が出る	23	2.2
16. 通学距離が遠くなり、安全性が心配	85	8.3
17. 教育の質を保てない	24	2.3
18. 興味が無い	3	0.3
19. その他	23	2.2
20. 無回答	37	3.6
全 体	1024	100.0

	回答数	割合(%)
6. 町の歴史や文化の紹介・解説	14	1.3
7. 地域づくり活動やボランティア活動についての情報	44	4.1
8. 消防・防災等の安全情報	55	5.1
9. その他	7	0.7
10. 無回答	27	2.5
全 体	1071	100.0

6 只見町への意見について

- ・只見駅前通り(常盤橋までの)整備を県と早急に始めてJRの再開通、国道289号(八十里峠)の開通に対応してほしい。又、役場庁舎跡地利用の観点から「道の駅」構想を合わせて整備される事を望みます。
- ・診療所の現在の状況を早く元の状態に戻して頂きたい。
- ・働く場所の誘致で若者の定着。只見高校生の町産業への就職を積極的に。毎年10人以上の雇用を図ることを町で積極的に行う。
- ・役場が2ヶ所に分かれているのはとても不便で、早く新庁舎を建設してほしいと思います。
- ・現在只見町で一番問題になっていることを知りたい。政策や取り組み情報はいいから解決しなければいけない重要なことをきちんと住民に知らせるべきだと思います。

- ・小学校の統合。ひと桁の人数では子供たちが学ぶ機会さえも考えられていないのでは？大人は子供たちのために動いてほしい。
- ・除雪体制を整え、雪がたくさん降る日はせめて2回除雪してほしい。道路環境が悪く危険。
- ・住居を整備(新設)しても家族向けのものではなく残念です。今ある町営住宅も老朽化が目立ちます。早急に考えていく必要があると思います。只見に住んでいなくても住む場所がなく町民が減ると思います。
- ・災害が起きた時、1人暮らしの避難方法が心配です。隣近所とのネットワーク構築は安心安全につながると思います。自分の命は、自分で守ることに必死になると思うので前もって確認が必要な人は声かけがあると一人暮らしの方もまわりの方も安心です。

お問い合わせ先

只見町地域創生課創生企画係
☎ 0241-82-5220

※本号に掲載した内容は、「令和元年度町民アンケート結果報告書」から一部を抜粋したものと なっています。報告書は、地域創生課や各振興センターに置いている他、町のホームページにも掲載しています。詳しくは、お問い合わせください。



▲専門部員の皆さんによる評価検証の様子

令和元年度

芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式 第43回只見町民文芸コンクール表彰式

1月25日、季の郷湯ら里で「令和元年度 芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞」と「第43回只見町民文芸コンクール」の表彰式が行われ、町民の皆さんの活躍が称えられました。受賞者は以下のとおりです。

※「青少年健全育成主張大会・標語表彰」については、13ページで紹介します。



令和元年度

芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰者

(敬称略)

〔芸術文化賞〕

▽三瓶れん(朝日小2年) 〓 絆ふれあ

い事業(復興部門) 〓 佳作

▽渡部妃咲(朝日小3年) 〓 福島県小

学校理科作品展 〓 奨励賞

▽三宅実美(只見高1年) 〓 令和元年

度税に関する高校生の作文 〓 田島

税務署長賞

〔スポーツ優秀選手賞〕

▽只見バレーボールクラブ(新國夢

萌・吉津瑞希・星まお・伊藤芽衣・

佐藤優妃・星柚子葉・増田司・大東

芽生・橋川小絢・大東咲来・矢沢

実優) 〓 うつくしまふくしま第42

回福島県小学生バレーボール選手

権大会兼第17回全国スポーツ少年

団バレーボール交流大会 〓 県3位

▽只見中女子剣道部(梁取もも・本

名真歩・鈴木莉子・浅野琳・大川

桃果) 〓 第35回福島県中学校選抜

剣道大会 〓 女子団体県3位

▽目黒咲翔(只見中1年) 〓 第40回福

島県ジュニア・アルペン公認記録

会 〓 アルペンジャイアントスラロ

ム県3位

▽鈴木来菜(只見中3年) 〓 ①第61回

福島県中学校体育大会スキー大会

〓 アルペンスラローム県1位 ②第

71回福島県スポーツ少年団体体育大

会スキー競技会兼第22回福島県ジ

ュニアスキー選手権競技会 〓 アル

ペンジャイアントスラローム県2

位 ③第40回福島県ジュニア・アル

ペン公認記録会 〓 アルペンジャイ

アントスラローム県2位

▽只見中男子クロカン部(五十嵐涼

凱・大竹優真・菊地琉巧・山内大

暉) 〓 第61回福島県中学校体育大

会スキー大会 〓 クロスカントリー

リレー県2位

▽馬場遊茶(只見高2年) 〓 令和元年

度福島県高等学校新人体育大会会

津地区大会剣道競技 〓 女子個人会

津1位

▽齋藤結(会津学鳳高3年) 〓 第65回

福島県高等学校体育大会剣道競技

〓 男子団体県3位

▽山内花(平成30年度南会津高校卒

業生) 〓 ①第64回福島県高等学校

体育大会 〓 クロスカントリークラ

シカル県1位 ②第71回福島県総合

体育大会 〓 クロスカントリーフリ

ム県1位

第43回只見町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

【作文部門】

◎小学生下学年の部▽特選／加藤彰彰

(只見小3年)▽入選／目黒ゆまり、渡部妃咲(以上、朝日小3年)▽佳作／増田巧(朝日小3年)、藁谷茂、梁取昊(以上、朝日小1年)、五十嵐慶伍(明和小1年)

◎小学生上学年の部▽特選／目黒真由(只見小6年)▽入選／斎藤有紗(朝日小6年)、目黒夏穂(只見小5年)▽佳作／渡部柁(朝日小6年)、矢沢悠樹(明和小4年)

◎中学生の部▽特選／橋川彩希(只見中1年)▽入選／三瓶なつめ(只見中1年)▽佳作／三瓶心乃花(只見中2年)、松永佳音(只見中1年)

◎小学生下学年の部▽入選／三瓶成翔(只見小1年)▽佳作／目黒佑乃心(明和小3年)、渡部あさひ(朝日小2年)

◎小学生上学年の部▽入選／佐藤翔(朝日小4年)▽佳作／長谷部優歌(只見小5年)

【短歌部門】

◎小学生下学年の部▽特選／矢沢茜音(只見小2年)▽入選／酒井乃愛(只見小2年)▽佳作／鈴木真斗(只見小2年)、三瓶成翔(只見小1年)

◎小学生上学年の部▽特選／渡部巧人(朝日小5年)▽入選／伊藤芽衣(朝日小5年)、齋藤寧々(朝日小4年)▽佳作／渡部琉生、星まお、吉津就(以上、朝日小6年)、長谷部優歌、五十嵐愛莉(以上、只見小5年)

◎中学生の部▽特選／山内友斗(只見中3年)▽入選／目黒巧馬(只見中3年)▽佳作／馬場滉大(只見中3年)

◎高校生の部▽特選／小勝高大(只見高2年)

◎一般の部▽特選／渡部ミヤ(小川)▽入選／吉津久仁子(黒谷)▽佳作／菅家ミヨ子(只見)

◎小学生下学年の部▽特選／新國峻生(只見小3年)▽入選／山内孝輝(明和小3年)、湯田誠汰(明和小1年)▽佳作／渡部妃咲(朝日小3年)、長谷部七歌(只見小2年)、三瓶成翔(只見小1年)

◎小学生上学年の部▽特選／矢沢悠樹(明和小4年)▽入選／青山成希(只見小6年)、酒井湧司(明和小6年)▽佳作／増田司、吉津知巴(以上、朝日小6年)、目黒季音(朝日小4年)

【俳句部門】

◎小学生下学年の部▽特選／舟木悠真(只見中1年)▽入選／菅野慧汰、星竜之介(以上、只見中3年)▽佳作／横山皓大(只見中3年)、佐藤来夢、梁取ななこ(以上、只見中1年)

◎中学生の部▽特選／鈴木舞花(只見高2年)、目黒優斗(只見高1年)

◎一般の部▽特選／目黒レイ(只見)▽入選／栗田味代子(黒谷)、渡部直江(福井)▽佳作／菅家紀子(只見)、渡部ユキ子(福井)、五十嵐邦男(只見ホーム)

※該当のなかった部門及び賞については記載しておりません。



町制施行60周年記念事業

「祝い膳」で子供たちの成長を祝う

1月19日、明和振興センターで町制施行60周年記念事業「小学校6年生の成長を祝い膳でお祝いする会」が開催され、町内3小学校の6年生24人と料理クラブの方々などが参加しました。今回は、60周年が人になぞらえると還暦であり、また、昔の数え年13歳は、男子が「元服」女子が「髪上げの儀式」など大人の仲間入りをする節目の年齢であることから、地域の食文化である「祝い膳」で小学6年生の成長をともにお祝いしました。



▲交流をしながら祝い膳を味わった児童たち

今回紹介されたのは、昭和30年代の後半まで、町内でも年越しや結納などの席でふるまわれた「祝い膳」です。児童たちが明和地区の料理クラブ「御器クラブ」の皆さんに教えてもらいながら調理を行い、「お平」（串魚や野菜等、7種類の具材が入った煮物）をはじめとする7品の祝い膳が用意されました。参加した児童からは、「美味しかった」「伝統を学ぶことができた」などの声が聞かれ、「祝い膳」を実際に調理し、食すことで地域の食文化を肌で感じる貴重な機会となりました。



▲参加した皆さん

今年一年の安全を祈願する

令和2年消防出初め式

1月5日、朝日振興センターで令和2年の「消防出初め式」が行われ、消防団員や女性消防班、関係者など約60人が出席しました。消防出初め式とは、消防関係者による仕事始めの行事のことで、毎年同時期に全国各地で行われています。

式の前半に行われた無火災祈願祭では、菅家町長と目黒邦友消防団長が玉串を奉てんし、出席者全員で今年一年の無火災や安全を祈願しました。その後、町長と団長から訓示があり、出席者の皆さんは決意を新たに、地域防災・防火に対する意識を高めました。



▲地域の安全のため、決意を新たにした団員の皆さん

文部科学大臣優秀教職員

学校や教職員の優れた取組に表彰

1月22日、今年度「文部科学大臣優秀教職員」として表彰を受けた朝日小学校（代表して米畑校長が来庁）と只見中学校の梁取勝伸主査が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告を行いました。同表彰は、学校教育活動全般において特に優れた取組を行った教職員や団体が対象となり、今年度、郡内からは3名（校）が表彰を受けています。朝日小学校はESD（海洋教育）の先駆けとして「只見愛」を育む教育を実践している点が、梁取主査は郡内事務職員の指導に尽力している点がそれぞれ評価され、今回の受賞となりました。



▲報告に訪れた朝日小学校 米畑校長(中右)と只見中学校 梁取主査(中左)

「第34回青少年健全育成主張大会」

児童・生徒が想いを発表

1月25日、「第34回青少年健全育成主張大会」が季の郷湯ら里で開催され、関係者や保護者など多くの皆さんが来場しました。

主張大会では、小学校・中学校・高校から各3名が、学校での経験や只見町への提言、社会問題などについて様々な想いを発表しました。各発表に対して会場からは大きな拍手が送られ、最後に明和小学校の穴澤校長から「皆さんが自分自身をよく見つめ、信念を力強く発表した素晴らしい内容でした」と講評がありました。その後、「第31回青少年健全育成標語入賞者」の表彰式が行われました。



▲主張を発表した児童・生徒と標語入賞者の皆さん

第31回青少年健全育成標語入賞作品 (敬称略)

部門	賞名	標語	学校・地区	氏名
小学生の部	優秀賞	悪い事 ダメだと言える 強い意思	朝日小学校6年	増田 司
	佳作	「大丈夫？」 その一言で いい笑顔	只見小学校5年	五十嵐悠陽
	佳作	あいさつで 笑顔あふれる 地域の輪	明和小学校6年	大竹 蓮斗
中学生の部	優秀賞	メディアより 言葉で伝える ありがとう	只見中学校1年	岩佐 乃杏
	佳作	感じよう ラインより目を見て話す 友情を	只見中学校1年	渡部 美空
	佳作	スマホより きっと大切 言葉の力	只見中学校1年	梁取ななこ
高校生の部	優秀賞	あいさつで 広がる繋がる 地域の輪	只見高等学校1年	馬場 混大
	佳作	今日の日を 一番楽しむ 僕がいる	只見高等学校1年	平野 創士
	佳作	あいさつで つながれつながれ 人と人	只見高等学校1年	小菅 岳人
一般の部	優秀賞	只見町 自然と人が ONE TEAM	只見高等学校1年	酒井 香苗
	佳作	叱る前 五秒かけて 深呼吸	只見高等学校1年	目黒 正也
	佳作	朝送り 夕に迎える 安堵感	只見高等学校1年	星 嘉人
	佳作	消せないよ いじわるな一言 やめようね	只見高等学校1年	渡部 直江
	佳作			田中ケイ子
	佳作			梁 取
	佳作			山内美代子

第34回青少年健全育成主張大会発表題名・発表者 (敬称略)

発表題名	学校	氏名
「オークランドとの交流を通して」	只見小学校6年	酒井 麗
「自然との共生～閑上での学びを通して～」	朝日小学校6年	斎藤 有紗
「只見町の未来について考える事を通して」	明和小学校6年	矢沢 実優
「相手を思いやる心」	只見中学校1年	宇野 日陽
「地球温暖化を考える～海洋教育を通して～」	只見中学校2年	梁取 健志
「生徒会活動を通して学んだこと」	只見中学校3年	橋川 綾乃
「私を変えた出会い」	只見高等学校1年	梁取 ゆず
「心の健康のために」	只見高等学校2年	吉津 沙優
「世界平和とは。」	只見高等学校2年	吉津 優河

福島県教職員研究論文
只見小と朝日小が入選

1月23日、県教育委員会が主催する「福島県教職員研究論文」の表彰式が役場で行われ、只見小学校と朝日小学校が「入選」作品として表彰を受けました。これは、教職員の自主的な研究を奨励し、研修意欲や専門性を高めることを目的に実施されているものです。

只見小は町内の自然を活かした体験活動を行い、ESD(海洋教育)に結び付けた点が、朝日小はESDで育みたい能力・態度の育成を様々な教科で実践した点がそれぞれ高く評価されました。当日は、南会津教育事務所の石本浩一所長から表彰状が手渡されました。



▲石本所長(左)から表彰状を受け取った只見小 遠藤教頭(中左)と朝日小 菅家教頭(中右)

1月26日は「文化財防火デー」
成法寺で消火訓練を実施

1月26日、「第66回文化財防火デー」による消火訓練が町内で行われ、只見町消防団をはじめ関係者が参加しました。毎年1月26日は、国民の文化財愛護意識の高揚を図る「文化財防火デー」に指定されており、本町でも2年に1回、消火訓練が行われています。

今年度は、国指定重要文化財の成法寺観音堂を会場に、119番通報や初期消火、文化財の搬出など、一連の動きを確認しました。また、国指定重要文化財の旧五十嵐家住宅、県指定重要文化財の旧長谷部家住宅(叶津番所)を加えた計3ヶ所で防火査察を行い、防火の管理状況の確認を行いました。



▲放水を行う消防団員(成法寺)

関係者が新年を祝う

令和2年只見町新年交歓会

1月7日、季の郷湯ら里で「令和2年只見町新年交歓会」が開催され、町内の企業や団体などから約110人が出席しました。

交歓会では、菅家町長と齋藤邦夫議長による年頭のあいさつの後、金子隆司南会津地方振興局長と星公正県議会議員が祝辞を述べられました。また、「只見松楓会」による祝謡や「瞳の会」による舞踊が披露されました。

出席者の皆さんは、気持ちを新たに、それぞれ新年の飛躍を誓いました。



▲只見町赤十字奉仕団 矢沢克子委員長の発声で乾杯する出席者の皆さん



▲チーズ作りを実演する柴田さん(右)



▲13時からの回に参加した皆さん

「チーズ職人」柴田千代さんをお招きして チーズを活用した交流イベントを開催

1月7日、「おいしいチーズのひみつ（おはなしとモッツァレラづくり体験）」が「こみと屋」（館ノ川）を会場に、町内有志によって開催され、町内外から約50人が参加しました。柴田さんは、千葉県大多喜町で月に1度だけ営業する「チーズ工房【千】sen」を営まれており、ご自身が生産したチーズに関する受賞歴を多数お持ちの他、昨年には人間密着ドキュメンタリー番組「情熱大陸」にも出演されています。

当日は、柴田さんが自身の経歴や思いなどについて紹介した後、参加者全員でモッツァレラチーズ作りを行いました。最後は、できたての温かいチーズを味わいながら参加者全員で交流を深め、会場には笑顔があふれました。

冬の只見町を舞台に

田舎暮らしモニターツアーで県外の皆さんが来町

1月12～13日、「奥会津で田舎探し！」田舎暮らしモニターツアーが行われ、県外から13人が参加・来町しました。同ツアーは、只見町への定住・二地域居住や新規就農を検討されている方などを対象に、只見川電源流域振興協議会が企画したものです。

ツアーでは、2日間に渡り、布沢集落のおんべ（歳の神）や「ただみブナと川のミュージアム」、移住体験ゲストハウス「ORAHO」（黒谷）などを見学しました。また、南郷トマト農家や実際に移住した方などと交流する機会も設けられ、「移住」という観点から只見の魅力を発信する機会となりました。



▲布沢集落の皆さんが行う「おんべ」を見学した

福島民報社主催の「第5回ふくしま産業賞」

「合同会社ねっか」が銀賞、 「奥会津プロジェクトチーム」が学生銀賞に輝く！

昨年12月と今年1月、福島民報社が主催する「第5回ふくしま経済・産業・ものづくり賞(ふくしま産業賞)」が発表され、「合同会社ねっか」が銀賞、「奥会津プロジェクトチーム」が学生銀賞(学生部門)に輝きました。

地元農家を中心となり、只見の米・水を原料に米焼酎を製造する「ねっか」(梁取)は、各品評会での表彰歴も豊富で、品質や人気はもちろん、国外を含む県内外への販路拡大という部分が高く評価されての受賞となりました。JR只見線への支援や田植え・稲刈りイベントの実施、地元小学生との交流など地域での取組も精力的に実施されています。



▲合同会社ねっか 代表社員の脇坂さん



▲町民を交え、只見にある地域資源の活用方法などについて議論したワークショップ(只見振興センター)

「奥会津プロジェクトチーム」は、会津大学短期大学部と首都圏(専修大、拓殖大)の学生が連携し、奥会津地域の資源を生かした「学生の学び場づくり」を目的に活動しており、会津短大 高橋准教授のゼミが事務局を務めています。

今年度は、只見町を中心とした事業に取り組み、町民を交えたワークショップの開催(昨年9月)や河井継之助に焦点を当てた観光パンフレットの作成などを実施してきました。今後もより多くの学生を巻き込み、JR只見線の利活用などをテーマに同地域振興策の検討を続けていきます。

第62回福島県中学校体育大会スキー競技大会

只見中学校スキー部が好成績を収める！

1月17日、同大会に出場した只見中スキー部9名が役場を訪れ、菅家町長に結果報告を行いました。

大会では、アルペン女子回転で鈴木来菜さん(3年)が優勝、クロスカントリーのリレーで男子チームが初優勝を果たした他、多くの選手が入賞し、全国・東北大会への切符を掴み取るなど素晴らしい成績を収めました。惜しくも東北大会での入賞はなりませんでした。2月の全国大会をはじめ、今後、只見中スキー部のさらなる活躍が期待されます。



▲只見中スキー部と関係者の皆さん

●全国大会出場

鈴木来菜(アルペン女子回転、アルペン女子大回転)、大竹優真、鈴木詠大(共にクロカンフリー)

●東北大会出場

クロカンリレーチーム(男女)、大竹優真(クロカンフリー、クロカンクラシカル)、菊地琉巧、山内大暉(共にクロカンクラシカル)、鈴木詠大(クロカンフリー)、鈴木来菜(アルペン女子回転、アルペン女子大回転)、目黒咲翔(アルペン男子回転)

※順不同、敬称略

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 もり 森 ぶゆと 冬人



「あきらめたら、そこで終了だから」

今日は私の決意表明です。

2015年度に会津中央病院からの4ヶ月交代の看護師派遣をお願いしているので、この5年間、看護師は不足しています。不安に思う方もいると思います。「看護師がいないから、入院や夜間の急患受け入れ、訪問看護などを止める」と、数年後にそうなってしまっても残念ながら私は驚きません。しかし田舎だから看護師が集まらないとあきらめますか？只見が田舎なのは昔からです。過去の町民はそれでも医療・福祉の充実のため努力したから「今までの診療所」があるのでしょうか。「診療所が救急車もみて入院もみて、看護師も医師も頑張っていて、こんなに凄い所だと知りませんでした！」町外から来たある看護師が言いました。学生や研修医にも似た事を言われます。朝日診療所には特有の魅力があります。

5年先でも約3800人の町民が暮らしています。訪問看護がないと自宅の生活が困難になる障害者・高齢者を私は知っています。数は少

なくても深夜の急患で助かる人を、独居で足腰が悪くちょっとしたことで町外の病院へ行く事ができない人を、死ぬまで只見で家族と過ごしたい人を私は知っています。

ケアマネージャー、保健福祉課の皆さん、介護施設の方々、「隣の人の様子が変わらなるとりあえず診療所に連れてきた」と世話を焼いてくれる町民の皆様。看護師はもちろん大勢の人の力を借りて、私は仕事をさせてもらっています。

町民が、役場職員が、診療所職員があきらめたら「今までの診療所」は無くなるでしょう。私も応援していた只見線は1-2年で全線開通します。その頃、診療所をどうしたいですか？

朝日診療所は令和2年4月1日から総合診療科を名乗る予定です。今は看板が変わるだけだとしても、「朝日診療所は、医療によって地域の全ての住民の安心した暮らしに貢献します」という診療所の理念を将来達成できるように、私もあきらめず頑張ります。今年1年よろしくお祈りします。

移住コーディネーターとして

只見町移住コーディネーター
なまため ひろし
生天目 博



「移住コーディネーターのウォーキング」

昨年の秋から昼休みに役場の周りを歩いています。いわゆるウォーキング、この冬は雪が少ないので、いまも続けています。両腕を大きく振り、少し速足で大股で歩くと、徐々に汗が出始め、気分が爽快になります。大きなストレスや問題を抱えていたとしても、ああ大丈夫！自分はこれを解決する方法を知っている、そう感じます。誤解のないように加えますが、私は毎日快適に勤務しています。これはたとえ話。

医学的な理由は分かりませんが、体を動かすと心臓から血液がたくさん送りだされ、全身を巡って、体も脳もベストな状態になるからだと思っています。理由はとにかく健康になれるということです。

只見の暮らしは肉体的にハードですが、理屈抜きに生きている充実感があります。東京にいた時より人生をより楽しみたいと思うようになりました。それも単に長く生きるだけでなく、よりよく生きてみたいと思います。シンプルですが、これがウォーキングの理由です。もう一つ、ウォーキングは移住コーディネーターの資質に関連しています。もし、あなたが移住を考えていて、あなたの目の前にいる移住コーディネーターが、いかにも不健康に見えたら、彼(彼女)からいろいろと説明を受けた後、あなたはその土地に魅力を感じるでしょうか？

ということで、今日も移住コーディネーターは、役場の周りを歩いています。

町史

とっておきの話

307

早稲田大学非常勤講師

ひさの
久野 俊彦
としひこ

書物の郷只見町での書物調査ファイルドワーク⑤

― 発見された古典籍の保存・修復・複製 ―

応永三十五年書写

『御遺告積疑鈔』の発見

只見町での古典籍の調査を始めて十五年、多くの中世写本が発見されました。最古の古典籍は、応永三十五年（一四二八）に書写された『御遺告積疑鈔』（黒谷・瀧泉寺蔵）です。奥書には、「時に応永三十五年 戊申、上醍醐寺乘琳院の御本を以つて、三月二十日之を書写し了んぬ。下総国太方郡今里郷円福寺、弟次別当行堅 賢（訓読）」と書かれています。

この書物は、室町時代の一四二八年に現在の茨城県結城郡八千代町今里にあつた円福寺で行堅が書写したものです。円福寺は後に下妻市下妻に移転しています。空海が書き置いたとされる『御遺告二十五箇条』を、鎌倉時代の学僧頼瑜（一一二六～一三〇四）が注釈したのが『御遺告積疑鈔』です。その室町時代の写本はいくつかありますが、



▲写真1『御遺告積疑鈔』（瀧泉寺蔵）

瀧泉寺蔵本は書写年と場所がわかる貴重な写本です。

破損している古典籍

写真1『御遺告積疑鈔』の現状を見てください。書物の後半部と後表紙だけが存在しています。この装訂を粘葉装といいますが、二つ折りの紙を糊で貼り重ねる装訂です。しかし、中央が虫食いで破損し、糊離れして、書物の前半が失われています。二〇一七年に瀧泉寺から発見さ

れた時は、書名（尾題）が書かれた最後の部分と、書写年が書かれた後表紙は別々の所にあつて、その時はどういう書物の書写年かはわかりませんでした。後日に断簡（書物の破片）を付き合わせる作業で、同じ書物であることがわかりました。発掘された土器の破片をつなぎ合わせていく考古学の作業と同じです。約六〇〇年前に書写された書物の末尾と年号が奇跡的に残ったのです。

古典籍の保存

古典籍が制作されてから数百年もの間、村落に伝えられてきたものを、私たちは貴重な文化遺産として後世に伝え活用していく責任があります。古典籍をより安全に保存するために、中性紙封筒に入れ、中性紙の紙箱または桐箱に収めます。ふつうの茶封筒や段ボール箱は、早くて数十年で劣化する酸性紙であ

り、古典籍をいためてしまいます。そのため貴重な古典籍は、書物全体をおおう特注の帙に入れて保管します。

古典籍の修復

破損している古典籍には、修復が必要です。写真2は、二〇〇五年に発見された『陰陽雑書A』（永禄六年（一五六三）書写、龍藏院（栖戸・山崎行弘家）旧蔵、只見町教育委員会蔵、町指定文化財）を修復した後の、前表紙見返しと冒頭です。只見町教育委員会では、京都の修復専門会社に発注して、破損していた前表紙を再建し裏打ちをしてから綴じ直しました。貴重な古典籍をよみがえらせる文化財修復事業の一環です。



▲写真2『陰陽雑書A』修復後

古典籍の複製と影印本

福島県重要文化財として指定された『神皇正統記 只見本』（原田拓夫家旧蔵、只見町教育委員会蔵）は、現在、帙に入れられ桐箱に納められています。公有の文化遺産は公開されて活用されるべきです。しかし、古典籍を直接手でふれてめくると、活用することに劣化するおそれがあります。そのため、貴重な古典籍は、複製本や影印本（写真版）を作成するのが一般的です。そこで『神皇正統記 只見本』の精巧な複製本が、京都の専門会社によって製作されました。今後はこの複製本を手にとって文化財の積極的な活用がはかられます。また、みなさんが手軽に見られるように、影印本『神皇正統記 只見本』も出版される予定です。

【訂正】「町史とっておきの話」三〇五回、五段七行目『秘蔵宝輪（×） 巻下』に誤りがあり、正しくは『秘蔵宝輪 巻下』です。



町民文芸

只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一

指導

久びさに級友と出会ひて懐かしく話せば若き日の事のみ多く

馬場 八智

降雪のあるや無しやを確かめて朝毎安堵し窓辺離るる

目黒 富子

会合で思ひがけずに頂きし大鉢植ゑシクラメン映ゆ

関谷登美子

週一度折込みのクイズ楽しめる老い母^{よはひ}齡九十三なり

新国由紀子

リウマチの病に天氣がさはるのか雪の予報に痛みのはげし

渡部ゆき子

雪の無き晴れ間の師走にサンダルで歩道歩くも風は冷たき

渡部ヨリ子

発熱の熱き手をもてひい孫はわれの冷たき両の手包む

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

一月定例会

目黒十一

指導

遠山をくるむ雲あり枯野道

味代子

消灯をつげるナースのカーディガン

弘子

瀬音無くダムより流る冬の川

ただひとつ戦なき世と初詣

礼

初雪や母の呉汁は実沢山

慟哭か歓喜か霜の雑木林

一穂

歳の暮村に残りし店閉じる

三日目やお平の残り味染みて

修一

吹雪来る母の角巻子を包み

仕方無く血圧日記使い初め

夕空の句碑にかがやく竜の玉

吉見

十六橋戸の口原も雪景色

幸生

新海苔の折る音旨き朝餉かな

寒波来よと思う日もあり雪祭り

信

初春や箱根路走る若人あり

ランタンに願いを込めて初景色

都

息白し母の小言も懐しく

包み込む白髪こぼる冬帽子



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

2月25日までに
納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)

お知らせ

日本政策金融公庫より 国の教育ローンのご案内

日本政策金融公庫が実施している「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●融資額 350万円以内

(子ども1人につき)

●金利 年1.66%

※母子家庭などは年1.26%
(令和元年11月1日現在)

●返済期間 15年以内

※母子家庭などは18年以内

●問合せ先

教育ローンコールセンター

☎0570-0008656

(ナビダイヤル)

☎03-5321-8656

※詳しくは、ホームページ「国の教育ローン」で検索してください。

厚生労働省福島労働局より 福島県最低賃金のお知らせ

福島県最低賃金が次のとおり改定され、パートやアルバイトにも適用されますので、お知らせいたします。

●福島県(地域別)最低賃金

令和元年10月1日発効

時間額 / 798円

▽産業や職種に関わりなく、県内で働く全ての労働者とその使用者に対して適用されます。

●特定(産業別)最低賃金

▽令和元年12月より特定の産業について設定され、「地域別最低賃金」よりも高い金額水準で定められています。

▽詳しくはHP「福島県最低賃金」を検索してください。

●問合せ先

福島労働局貸金室

☎024-53614604

多重債務・貸金業に関する 相談窓口について

財務省福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々の相談にのじています。借金の状況を聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。秘密厳守、相談無料です。お気軽にご相談ください。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」業者には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

●相談窓口

財務省福島財務事務所理財課
住所 / 福島市松木町13-2

●受付時間

月～金曜日

(祝日、年末年始を除く)

8時30分～12時
13時～16時30分

●電話

☎024-53310064
(多重債務者相談専用窓口)

パワーハラスメント 防止対策について

職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となります(適切な措置を講じていない場合には是正指導の対象となります)。

●施行日

大企業…令和2年6月1日
中小企業…令和4年4月1日

●問合せ先

福島労働局雇用環境・均等室
☎024-53614609

都内で只見産米などの魅力をPR 虎ノ門「旅するスタンド」に出展中！

東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、1月9日から東京港区「新虎通り」にある「旅するスタンド」に只見町が出展しています。店舗名は、三石神社にあやかり、利用者と只見町のご縁を笑顔で結ぶ「笑結」。町の情報発信とあわせ、只見の農産物などの飲食を展開し、町の魅力を発信しています。一番人気は、ランチタイムの只見産米おむすびと米粉の唐揚げ、豚汁のセットです。他にも、只見の食材を使用した一品料理や「ねっか」、「どぶろく」なども提供していますので、ぜひお立ち寄りください。

期間：令和2年3月31日(火)まで



えみむすび
「笑結」



11:30～15:00 / 17:30～22:00(平日)
11:30～19:00(土曜・祝日)
日曜定休 (月曜が祝日の場合、日営業・月定休)
東京都港区西新橋2-16-6
☎080-7968-8490

町長スケジュール (1月分)

- 5日 只見町消防団出初式
- 6日 仕事始め式(広域消防只見出張所、あさひヶ丘、役場町下庁舎)、南会津地方広域市町村圏組合消防本部・消防署仕事始め式(南会津町)
- 7日 只見町新年交歓会
- 8日 福島県市町村長防災危機管理セミナー、年始知事懇談会(福島市)、県関係機関及び新聞社等年賀挨拶
(～9日 福島市)
- 9日 只見町の農産物PR事業「旅するスタンド」オープニングイベント(東京都)
- 14日 政策調整会議
- 15日 南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会(南会津町)、南会津地方環境衛生組合議会臨時会(下郷町)
- 16日 スミタフォトンクス工場長来庁、上下水道審議会答申
- 17日 只見町商工会新年懇談会

- 18日 歳時記の郷・奥会津シンポジウム
(金山町)
- 19日 町制施行60周年記念事業「小学校6年生の成長を祝い膳でお祝いする会」
- 20日 雪まつり打ち合わせ、定例庁議、議会全員協議会、会津を拓く講演会(会津若松市)
- 21日 栃木ニコン訪問(大田原市)、スミタフォトンクス訪問(南会津町)、東邦銀行只見支店親和会新年会、只見町教育委員送別会
- 22日 朝日小学校他受賞報告、雪まつり実行委員会、只見町農業再生協議会総会
- 23日 会津医療センター副センター長来庁、南会津農林事務所との意見交換会
- 25日 只見町青少年健全育成主張大会並びに各種表彰式、(株)季の郷湯ら里取締役会
- 26日 自然首都ただみ学術調査研究助成事業研究成果発表会
- 27日 会津中央病院理事長訪問(会津若松市)
- 28日 市町村職員年金者連盟只見会総会
- 29日 田島税務署長来庁、南会津地方広域市町村圏組合予算査定(南会津町)
- 30日 福島県教育委員会教育長への要望活動
(福島市)
- 31日 只見町土地改良区理事会

町民の消息

(12月26日～1月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

金子 零 (男/裕一・恵美子) 只見
 鈴木 咲良 (男/健・香) 黒谷
 佐藤 瑠哉 (男/亮人・愛菜) 館ノ川

■ご結婚おめでとうございます

塩ノ岐 鈴木 豪 ♡ 梁取いづみ 塩ノ岐

■おくやみ申し上げます

渡部 源 一	86	福井	井
梁取 藤 男	90	小林	林
若林 セツ	104	大倉	倉
吉田 六郎	94	只見	見
目黒 ミツ	86	小川	川
大竹 ミエ	95	梁取	取
山内 文正	81	二軒	在家
菅家 トヨ子	91	長浜	浜
長谷部 タミ子	86	長浜	浜
飯塚 平吉	82	大倉	倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和2年1月1日現在

人 口 4,155 (-9)
 男 2,035 (-6)
 女 2,120 (-3)
 世帯数 1,769 (-6)
 高齢化率 46.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 6 出生 1 死亡 11

▽連日、報道されているように今冬は歴史的な暖冬です。外を見渡すとまるで春のような感じがします。
 ▽本稿執筆時点(1月30日)で積雪はほとんど見られません。雪まつりまでに少しでも多くの雪が積もると良いのですが。さて、今年はどうな雪まつりになったでしょうか？
 ▽3月に大雪となる可能性もありますし、まだまだ雪への備えは万全に。インフルエンザなどにも気をつけて元気に過ごしましょう！

(橋本)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習サポーター
浅野リサ

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★子どもに伝えたい歳時記ごはん

えとにママ/著 (講談社)



「おうちで季節のイベントを何かやっていますか？」季節のイベントを体験することは、食育にもつながります。

子どもが喜ぶ日々の季節・行事ごはんを、より身近に楽しくセンスよく！

1月から順に季節の行事、記念日、お弁当、持ち寄り・野外ごはんなど、イベントの題材探しのヒントになること間違えなし！！映える写真の撮り方、盛りつけや器の提案、海苔細工のお手本画も。行事をやる意味や由来、旬の食材・二十四節気一覽など。

Instagramアカウント：@etn.co_mam

★地元パン手帳

甲斐みのり/著 (グラフィック社)



食パン、メロンパン、コッペパンなどの定番から、総菜パン、菓子パン、ユニークパンまで。

著者が全国各地を旅するなかで集めた、その土地で長年愛される「地元パン」を200点超紹介。

ユニークなネーミング、レトロなパッケージなど、思わず手に取って味わいたくなるものばかりです。

福島のクリームボックスも紹介されています！

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

りょくしよくぎょう かい がん 緑色凝灰岩



▲ 緑色凝灰岩

▶ 和泉田橋付近の河床



▶ 籠岩



町内で山の中を散策していると緑色がかった岩石を見かけることがあります。これは緑色凝灰岩です。只見町では、新第三紀に形成された地層(新第三系)が分布する町の中央部を中心に広く分布しています。

緑色凝灰岩は、日本列島の基盤岩が大陸から離れて現在の位置に移動した新生代新第三紀(2303万年前～258万年前)に形成したとされています。多島海だった当時の東北日本では海底火山活動が活発になり、緑色凝灰岩はその時に噴出した火山灰などを由来としています。火山性の熱水や圧力などにより含有される鉱物が緑泥石などに変質するため緑色に見えます。

こうした凝灰岩の多くは水分を含むと崩れやすく脆い特徴があります。この地域に特徴的な景観である雪食地形は新第三系の分布域でよく見られることから、多雪環境に加えて、こうした地質的な要因がこの形成に寄与していると考えられます。また、町内では成法寺裏の籠岩や伊南川支流日宮沢沿いの日宮沢観音、伊南川に架かる和泉田橋付近の河床といったところに緑色凝灰岩が浸食作用を受けて形成された特異な地質景観も見ることができます。

企画展

「只見の山を眺めれば…そこにある樹木に気づく企画展」

期 間：令和2年1月25日(土)～令和2年3月30日(月)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

講座

「雪国只見の地形と樹木・植生の分布」

期 間：令和2年2月29日(土) 13時30分～15時30分

講 師：鈴木和次郎 博士(元只見町ブナセンター長)

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム(※入館料が必要です)